

○ 目指す学校像

- 1 「遠野郷の人材は遠野で育てる」で、保護者・地域から信頼される学校
- 2 「修得尚武」で、自らを律することにより、高い徳性と文武両道を実現する学校
- 3 「磨けば光る原石」で、多様な能力の開発と伸張を追求する学校

平成 22年 2月 12日

第 8 号

文責 千葉和夫

遠野高校

校長 広報

活氣の精神

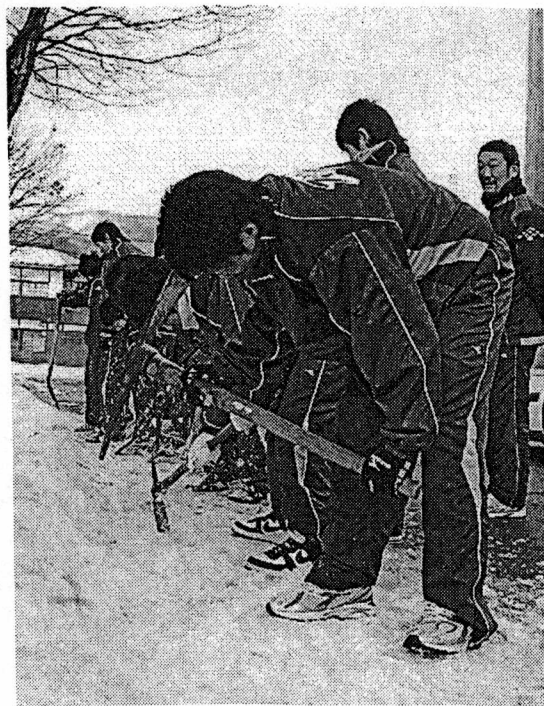
T・F君、東北大学合格
 (遠野中出身)
 難関大学(学科) 合格者は3名に!

地域ワイド

地域と係わる活動をして 地域に必要とされる学校になろう!

サッカー部も、吹奏楽部も、理科学研究部も、県トップの部は地域貢献しています

遠野市の遠野高(千葉和夫校長、生徒492人)のサッカー部は24日、地域への恩返しとして同市のJR遠野駅前など3カ所で雪かきボランティア活動に取り組んだ。花巻市内の中高校生有志でつくる地域活性化組織「はなまきUC」も23、24の両日、花巻市内で雪かきボランティアを実施。笑顔で奉仕の汗を流した。



つるはしやスコップを使い、硬く凍り付いた雪をかき出す遠野高のサッカー部員

培った体力発揮 遠野

1、2年生の部員48人が3班に分かれて作業した。遠野駅前では駐輪所の自転車を整理し、歩道などに硬く凍った雪を、つるはしやスコップを使い、硬く凍り付いた雪をかき出す遠野高のサッカー部員

しやスコップを使って取り除いた。2年佐々木俊輔君は「いつも市民の皆さんに支えられながらサッカーに励んでいる。少しでも役に立ち、恩返しになればうれし」と笑顔を見せ、日ごろの練習で培った体力を作業に発揮した。中嶋睦雄校長は「生徒が率先して作業に取り組んでくれた。大変ありがたい。利用者も喜ぶだろう」と感謝した。

雪解かす奉仕の心 高校生ら2市で活動

新聞にもあるとおり、サッカー部が駅前の「雪かき」をして地域の役に立ってくれました。それだけでなく、遠野病院の敷地内の除雪も行ってくれました。「来院の方々から好評で、大変感謝している」とのお手紙を病院長さんからいただきました。ありがとう。

遠野高校は、地域から愛され、必要とされる学校となり、中学生や保護者が「遠野高校に入りたい(入れたい)な」と思ってもらえるような学校を目指したいと思っています。そのためには、ボランティアなど積極的に地域に貢献する活動を推し進めていきましょう。そして地域に必要とされ、地域に応援される学校になりましょう

○吹奏楽部が「遠野物語ファンタジー」で、生演奏を行い、遠野市が総力をあげた舞台を盛り上げてくれました。1年の鈴木美穂さんは役者として、市民と一体となって公演を大成功に導きました。みんな、ありがとう。
 ○理科学研究部は遠野市の研究発表の場である「遠野学会」で発表し市民との交流に貢献しました。ありがとう。

遠野物語 ファンタジー 胸を張り大合唱
 第35回遠野物語ファンタジー「オシラサマ昇天」(制作委主催)は30、31の両日、遠野市新町の市民センター大ホールで上演された。今回の題材は1976年の初演以来、初めて舞台化された馬と娘の悲恋「オシラサマ」。3回の公演で約2400人の観客を感動の渦に包んだ。

東北大学の合格が決まったことにより、すでに決まっていた筑波大学、岩手医科大学(医学科)と合わせ難関大合格は3名になった。18年~20年度の難関大学合格者は3年分を合わせても1名しかいなかった(年平均0.33人)ので、今年はその十倍近い大躍進だった。遠野高校は変わろうとしている。

2/1 岩手日報
 菊池さん 大活躍!
 県ポウリング大会で本校職員の菊池さんが50歳代の部で優勝した。県のトップレベルなのは、生徒だけではない。

【全日本選手権選考会】
 ▼男子 ①佐藤信也(奥州市) 2650点 ②木村聡2546点 ③菊池史和(遠野高職)2503点
 ▼50歳代 ①菊池史和(遠野高職)2503点 ②高橋宗康(増長寺)2431点 ③枅内秀士(とちない脳神経外科クリニック)2418点

◇第12回県年齢別ポウリング選手権大会(後半戦)・第48回全日本選手権大会選考会(31日、盛岡市・ビッグハウススーパーレイン)

2/1 岩手日報

裏へ

